

28amG-004

心肺蘇生講習を通してのヒューマニズム教育

○中村 武夫¹, 伊藤 栄次¹, 松野 純男¹, 桑島 博¹(¹近畿大薬)

【目的】生命に関わる職業人としての薬剤師養成においてヒューマニズム教育は欠くことができない。薬学教育モデル・コアカリキュラムにおいては、医療人としてふさわしい行動・態度をとることができるようになることを目標にヒューマニズム教育の重要性が指摘されている。また薬剤師に求められるプロフェッショナルスタンダードにもヒューマニズム（倫理）項目がある。薬学教育におけるヒューマニズム教育の一環として、心肺蘇生講習を実施し、人命救助に対する意識変容について検討した。

【方法】薬学部1年生を対象とした早期体験学習での心肺蘇生講習の際に、人命救助に向き合う姿勢、心構えについて、また「恐怖の心理」や「法的責任」を伝達することによる救命意識の変化について無記名自記式の意識調査を実施した。なお心肺蘇生講習はインストラクター資格を有する教員の指導下、ダミー人形およびAED訓練器を学生10名に1体（1台）として、約3時間行った。

【結果・考察】心肺蘇生に関する手技講習の実施により明らかな救命意識の向上が認められた。救助対象者が「自分にとって大切な人」と「他人」の場合においては人命救助意識に差異が認められたが、いずれも積極的な行動変容につながる意識変容であった。心肺蘇生手技習得後に「恐怖の心理」に関する内容を伝達したところ、救命意識が低下した。その後、「善意に対する法的責任」について伝達することにより、「恐怖の心理」の伝達により低下した救命意識は、心肺蘇生手技講習後に相当する程度にまで向上した。心肺蘇生講習を通しての救命手技の習得のみならず、緊急の難儀に遭遇している人に手を差し伸べられる薬剤師養成に向けてヒューマニズム教育を維持・継続する必要がある。